## アシスタントAI チャットボットのセットアップマニュアル

① 下記の URL に移行し、ファイルを自身のドライブにコピーする

Г

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1ul3r7fi2Bsv858-1njYE2tjwOyu0GAIjQj3VgjVHDFo/copy?urp=gmail\_link

Google Sheets	
ドキュメントのコピー	
▲ 添付の Apps Script ファイルと機能もコピーされます	
「 <b>アシスタントチャットボット_サンプル」</b> のコピーを作成しますか?	
コビーを作成 Apps Script ファイルを表示	

② スプレッドシートのシート名「初期設定」を開き、学年、組、名簿番号、名前、パスワードを入力する

	A	В	С	D	E
1			生徒情報の入力		
2 3	学年	組	名簿番号	名前	PassWord ×同じ
4	1	1	1	サンプル	1111
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					

③ スプレッドシートのシート名「評価基準」を開き、例に沿って評価基準を入力する



④ 「拡張機能」→「Apps Script」をクリックする



#### ⑤ 「個人シートの作成」→「実行」をクリックする

2	Apps Script チ	ヤツト	<b>ヽ</b> ボット	、(個別、履歴対応、GIF)   ◎
i	ファイル	Ą́z +	5 2	💽 📔 ▶ 実行 🕑 デバッグ duplicateTemplateSheets ▼ 🛛 実行ログ
<>	個人シートの作成.gs		$1 \sim fur$	<pre>nction duplicateTemplateSheets() {</pre>
5	Code.gs		2	<pre>/ar ss = SpreadsheetApp.getActiveSpreadsheet();</pre>
ی ش	index.html		3 V 4 \sigma j	Yar ContigSheet = ss.getSheetByName( 初期設定 ); Loggar log("シート「初期設定」が見つかりません。");
0	ライブラリ	+	6	return;
-> ~~	サービス	+	8 /	// F列4行目から最後の行までの値を取得
2.05			10 \	<pre>var lastRow = configSheet.getLastRow();</pre>
			11 \	<pre>/ar nameRange = configSheet.getRange("F4:F" + lastRow);</pre>
			12 \	/ar names = nameRange.getValues(); // 2次元配列
			14	// 複製元のシート「ひな形」を取得
			15	/ar templateSheet = ss.getSheetByName("ひな形");
			$16 \vee i$	f (ltemplateSheet) {

⑥ 「アクセスを承認」をクリックする

#### 新しいデプロイ

このウェブ アプリケーションを使用するには、データへのアクセスを許可する必要があります。



⑦ 「許可する」をクリックする

このサイトまたはアプリと機密情報を共有している可能性がありま す。レポート評価システムがデータをどのように取り扱うかについ ては、利用規約とプライバシーポリシーをご覧ください。アクセス はいつでもGoogle アカウントで確認または削除できます。





\*左図と違う場合でも「許可」等をして進んでいくこと

⑧ 「プロジェクトの設定」をクリックする

🎬 Apps Script ジャットボット(個別、履別



#### ⑨ 「スクリプトプロパティを追加」をクリックする

スクリプトプロパティ

スクリプト プロパティを使用すると、特定のオブジェクトインスタンスに対して簡単にカスタム プロパティを定義および公開できます。詳しくは、<u>スクリプトプロパティに関するドキュメント</u>をご 覧ください。

スクリプトプロパティを追加

#### ⑩ 「GEMINI\_API\_KEY」をプロパティ名とし、値を入力する。

プロパティ \_\_\_\_\_\_ (値) GEMINI\_API\_KEY

#### 「GEMINI\_API\_KEY」取得方法P6

#### ① 画面右上の「デプロイ」→「新しいデプロイ」をクリックする

	デプロイ 🔸 📀 🏭
doGet マ 実行ログ	新しいデプロイ
ッドシートとドライブのIDを取得	デプロイを管理
<pre>rtiesService.getScriptProperties().getProperty('SPREADSHEET_I Service.getScriptProperties().getProperty('FOLDER_ID');</pre>	「 デプロイをテスト
tmlOutputFromFile('index') テム');	

### 12 「デプロイ」をクリックする

新しいデプロイ



## 13 「アクセスを承認」をクリックする

新しいデプロイ

このウェブ アプリケーションを使用するには、データへのアクセスを許可する必要があります。
アクセスを承認
⑭ 「許可する」をクリックする
このサイトまたはアプリと機密情報を共有している可能性があります。レポート評価システムがデータをどのように取り扱うかについ ては、利用規約とプライバシー ポリシーをご覧ください。アクセス はいつでもGoogle アカウントで確認または削除できます。
リスクについて学ぶ
キャンセル 許可する

(15) URL が生成されるので、アクセスする。(この URL を生徒に配付する)

新しいデプロイ	
デプロイを更新しました。	
バージョン1(2024/10/31 9:44)	
デプロイ ID	
AKfycbzWcv5n8oKcL9-2Z_1KQnaUG_jPpmKwwDkJ8ooQVU-JO4u1eEYGOXOpFm_Jnw93eQ2nTg	
ウェブアプリ	
URL	
https://script.google.com/macros/s/AKfycbzWcv5n8oKcL9-2Z_1KQnaUG_jPpmKwwDkJ8ooQVU-JO4u1eEYGOXOpFm_J	

#### 10 パスワードに初期設定シートで設定したパスワードを入力するように促す。

チャットボット_ログイン	index.html ライブラリ	+	183 184 185 186	  <body> <!-- ログイン画面--></body>
パスワード (4桁の数字) パスワード: ログイン	サービス	+	187 188 199 190 191 192 193 194 195	<pre><div_id="loginkiew"> <hz>fvットボット_ログイン  off(スワード(4桁の数字)</hz> </div_id="loginkiew"></pre> <pre><torm id="loginForm"> </torm></pre> <pre><li><label for="password">パスワード:</label> </li></pre> <pre><input <button="" autoco="" id="password" name="password" type="submit"/>ログイン <button class="error" type="loginError"> </button></pre> <pre></pre>
	•			* し 司の 答託 ベタ 新た 亦 更 司 化

\*上記の箇所で名称を変更可能

#### ① 自分の名前が表示される。



# 「GEMINI\_API\_KEY」

Gemini API の取得方法

① 下記の URL に移行し、「プロジェクトを選択」をクリックする

https://console.cloud.google.com/

Ť	\$300 相当の無料トライン	ワルをご利用ください。 クレジット	トを使い切っても料金は発生しません。 詳細 🖸			
=	Google Cloud	プロジェクトの選択	スラッシュ (/) を使用してリソース	、、ドキュメント、プロ	コダクトなどを検索	Q 検索
			•			対応が必要
	<u></u>	ようこそ				Google C
	プロジー	「クトを作成または遅排	R して Google Cloud の利用を開始	4		するには
	しまし。	ょう。 <u>プロジェクトの</u>				プロセス
	ダッシュス	<u> ボード</u> Cloud Hub 新規				くたさい

② 「新しいプロジェクト」をクリックする

プロジェクトを選択	▶ 新しいプロジェクト
プロジェクトとフォルダを検索 <b>Q</b>	
最近のプロジェクト スター付き すべ	С
名前	ID
<b>围</b> <u>組織なし</u>	0

③ プロジェクト名を決定し、「作成」をクリックする



- ④ 下記の URL にアクセスする https://ai.google.dev/gemini-api?hl=ja
- ⑤ 「Google AI Studio で API キーを取得する」をクリックする



⑥ 「API キーを作成する」をクリックする

API クイックスタート ガイド
curl ¥ -H`Content-Type: application/json' ¥ -d`{"contents":[{"parts":[{"text":"Explain how A] works"]]]]}' ¥ -X POST 'https://generativelanguage.googleapis.com/vlbeta/models/gemini-1.5-flash-latest:generateContent?key=YOUR_API_KEY'
□ コードは慎重に使用してください。
C→ APIキーを作成する

⑦ 「Search Google Cloud Projects」→ Google Cloud で作成したプロジェクトを選択する



⑧ 「既存のプロジェクトで API キーを作成する」をクリックする

☞ 既存のプロジェクトでAPIキーを作成する

⑨ 「コピー」をクリックする

